



つながろう！南台
中野区立南台小学校



中野区立南台小学校 令和 3年 4月 8日～令和 4年 3月25日

南台 校長室だより集

令和3年度

No. 81～111



新たな校舎の地での1年

令和4年3月31日 中野区立南台小学校

＜教育目標＞

地域に生きる南台の子

知 かしこく 徳 やさしく 体 げんきよく

「知」、「徳」、「体」相互に関連し、豊かにかかわり合う教育活動を展開する。自分の生まれ育ったところ、過ごしたところを大切に思い、将来自らが暮らすところも大切にでき、広くグローバルな視点からも地域社会をとらえ直すことができる人材、将来地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。

令和3年度 南台小学校～地域コミュニティの核となる学校

つながろう！南台

～つながる つなげる南台小

統合再編による開校以来、「地域コミュニティの核となる学校」を目指し、「連携教育」を推進する中で、学校の特色化と安定化を図ってきました。

7町会自治会をはじめ、関係幼稚園保育園、関係諸機関とのつながりを生かした教育活動の活性化を進め、安心安全が守られ、地域を生かした教育活動の充実があります。

周囲の方の学校への心寄せ「ボランティアマインド」は、児童に伝わり、相互の「ボランティアマインド」の醸成につながっていく相乗効果を大切にしてきました。

コロナ禍であっても一定程度のつながり感をもって教育活動を進められました。今年度も「連携教育」と「ボランティアマインド」をキーワードに地域とも共有しているテーマ、「つながろう！南台」2年目として続けます。

コロナ禍での安全安心を第一に考えながら、Withコロナに向けた教育活動の工夫改善を進めます。新たな校舎の地でも「つながる つなげる南台小」として、令和3年度の教育活動を進めます。

(令和3年4月保護者会資料)



＜校地に咲くササリンドウの花＞

「つながろう！南台」2年目…感謝！

令和3年度は校舎移転後の新たな校舎での年でした。

学校の教育目標「地域に生きる南台の子 かしこく やさしく げんきよく」を受け、「つながろう！南台」のテーマは2年目に入り、これまでの教育活動の維持の実践が続けられるように教育活動を展開してきました。

コロナ禍であり、安全安心を第一に知恵と工夫を施しながらの学校生活でした。けれども、「感染症が収まったら、様々なことができるように準備を進める。難しいとなったら、ダメージのないように撤退する。」ということを経験し、地域、PTA、保護者の皆様とも共有し、様々なことに挑戦することができました。そのことが子供たちにも伝わり、子供達の内面の成長につながっていると感じています。本校の道徳教育の重点は「感謝」です。その中で子供たち自身は自分で自分を育てるような心構えがあり、「何でもよくやる6年生」最高学年が育ちました。様々な取り組みを南台小に心寄せるたくさんの方々を支えていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

1年間の振り返り、「南台 校長室だより集」としてまとめました。お読みいただければ幸いです。来年度は6年目、開校5周年の南台小学校をよろしくお願いします。

中野区立南台小学校 令和 3年 4月 8日(木)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 81

校舎移転・始業式・第5回入学式ご報告



＜大変お世話になった旧校舎＞



＜令和３年４月１日から過ごす新たな校舎＞

3月末に学校の機能を現在の地に移し、3月29日から私たち教職員は現校舎に出勤していました。教職員の異動もある中で片付け作業と新年度準備を進め、4月6日を迎えました。子供たちは元気よくはりきって登校してきました。7時半には北側の門で待っている子もいて、早すぎるけれど、前向きさも感じました。交通安全週間も始まり、登下校をPTAの方に加えて、町会の方々が見守って下さっています。保護者の方と一緒に登校する子もたくさんいました。ありがとうございます。

たくさんの方に「あいさつ」の機会があります。また、「安全」はどんなに見守ってもらっていても、自分の目の確認が大事です。「あいさつ」で人から見守られていると感じつつ、自ら「安全」を守る子供に育てて欲しいです。「あいさつ」と「安全」をつなげていきましょう。

始業式、校庭に並びました。昨年度、ほとんどこのような形の集合はできませんでしたが、そんな中でもしっかりやろうという前向きさと新年度という節目ではりきっている顔つきの子供がたくさんいました。

入学式では1年生はしっかりした態度で参加していました。立派な態度でした。これからの学校生活、わくわくドキドキして欲しいと思います。6年生の仕事もたくさんありました。1年生のお世話をする…案内する。会場を準備する…片付ける。ということを考えてやっていた6年生の姿がありました。その姿にも感激しました。、6年生はオンラインで別室から参加、代表1名が会場参加でした。

はりきっている子供たちの始業式、入学式の様子を写真と6年生の代表の言葉でお伝えします。



<始業式 6 年児童代表の言葉>

あいさつの理由

私は去年がんばってできるようになったことがあります。

去年、5 年生で特にがんばったのはあいさつです。学校では、朝に門で会った人だけではなく教室移動の時、休み時間に廊下を歩いている時にも通りすがった人に自分からあいさつができるようになりました。

4 年生の時は、相手にあいさつを先にされてからあいさつをしていました。ろう下で会った人には、ほとんどあいさつをしていませんでした。その時は、あいさつをしていいことはあるのかなと思っていました。

ですが、5 年生になってから、あいさつをして気付いたことがあります。それは、あいさつをする理由です。教室移動の時、ろう下を歩いている、人とすれちがったのに、あいさつをしていなくて、先生に注意されたので次にろう下ですれちがった時、あいさつを試みました。すると、すれちがった人は笑顔であいさつを返してくれました。その時、私はあいさつをしたらとても気持ちがいいことに気付きました。それからは、ろう下で人と会ったら自分からたくさんあいさつをしました。あいさつをする理由に気付くことができてよかったです。

私は6 年生になりました。学校の最高学年の6 年生があいさつをしていれば、自然に全校があいさつ上手になると思うので、これからもあいさつを続けていきます。あいさつをした時の気持ちは、あいさつをしなれば分かりません。なので、みなさんも人と会ったら笑顔で元気にあいさつをしてみてください。

(6 年児童代表)

<入学式第 6 学年歓迎の言葉>

1 年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ぼく達はみなさんが入学してくることをとても楽しみに待っていました。みんなにお願いが3 つあります。

1 つ目は、元気に学校に来て下さい。学校は楽しい所です。授業では、友達と一緒に勉強できるし、休み時間には友達と一緒に楽しく遊ぶことができます。

2 つ目は、分からないことや困ったことがあったら、ぼくたちに何でも聞いて下さい。南台小学校のみんなはやさしいのでいつでも助けてくれます。

3 つ目は、何でも楽しんでやって下さい。授業では国語や算数以外にも図工や音楽などもあり、授業以外に運動会やたてわり班活動もあるので、全力で楽しんでください。

今日から始まる学校生活は楽しいことがたくさん待っています。休み時間には、一緒に遊んで名前を覚えて仲良くなりましょう。毎日学校に来るのが楽しみにするように応援します。ぼくたちと、明るい学校生活を送りましょう。

(6 年児童代表)

そして2日目、教室の様子は…

2 日目もはりきって子供たちは登校してきました。が、新しく使う校舎なので、分からないこともたくさんありました。

ひとつひとつ並ぶ場所、昇降口等覚えながらニコニコしていました。6 年生の南台太鼓で入室しました。新しい教科書を取りに行きながら、校舎内を探検のように回っている学級もありました。初めての給食、人数の多い学級は廊下も使って工夫して配膳します。どの学級も子供と先生とで楽しそうです。あっという間に1 日が過ぎ、元気に下校しました。

今回の校舎移転では、準備段階から地域、保護者の方はもちろん、区教育委員会関係部署には大変お世話になりました。穏やかにスタートできました。深く感謝申し上げます。



南台 校長室だより

令和3年度
No. 82

新年度・校舎移転1ヶ月

早いもので、校舎移転からの新年度の1ヶ月が過ぎようとしています。新しい学び舎でも子供たちの元気に学ぶ姿は大変頼もしく感じています。そして、最高学年6年生を中心にはりきっている姿を大変うれしく思っています。

全校で集まることはできませんが、全校朝会や1年生を迎える会はGoogle Meetや放送、各教室での動画視聴等で進めてきました。各々のメリットを生かして活用しています。全校朝会の冒頭で6年生のあいさつで始まり、その6年生の話をしてもらっています。今週末まで3回は、「あいさつ」のことを取り上げました。「地域の方にもあいさつしよう」、「先にあいさつしよう」、「あいさつの後、お話してみよう」というようなメッセージも伝えています。また、1年生も1回目から参加しています。シルバー人材センターの朝の見守りの方や青少年育成南中野地区委員会の方も来校し、放送室から朝会の登場してもらっています。同時に毎週の生活目標では、新しい校舎の使い方や約束等を覚えるように内容を設定して、継続して指導に当たっています。

1年生を迎える会では、入学式の2年生のメッセージビデオ、6年生による学校の約束やあいさつのお手本を見せるビデオも登場、1年生からのお礼のビデオもあり、最後にみんなで歌を口ずさむことができました。各教室からの参加でしたが、一体感も生まれていました。

この間、引き取り訓練や旧校舎見学会も実施しましたが、ご協力いただき感謝申し上げます。1、2年生の学校たんけん、交通安全教室、3年生のはたらく消防の写生会、南中野中とのあいさつ運動等は予定通り実施できました。4年生以上は校外学習の準備も進めています。5、6年生は移動教室です。担任の先生が実地踏査の間、自分たちでしっかり過ごそうとする姿が印象的でした。

新しく過ごす場所なので、過ごしてみて分かることもあり、約束やきまり、そして施設も様々見直しをしています。例えば、校庭も体育館も屋上も休み時間に遊べるようにしていますが、その約束をどう守って子供が動きやすいようにするか等です。常に工夫改善していくことが必要ですが、「子供にとって」という視点で進めています。



朝、下校のシルバー人材センターの見守り場所

地域の方、保護者の方から様々な登校時の情報をいただきました。あいさつのこと、歩き方のこと、工事のこと等多岐に渡ります。その中で、南台商店街入口にも見守りが必要だと考えています。6月から朝の時間に配置できるよう調整を進めます。5月6、7日は教員が様子を見に行くとともにPTA運営委員の方から5月中は有志を募っていただく予定です。その間にシフトを調整していきます。様々な情報をありがとうございました。

南台 校長室だより

令和3年度

No. 83

[illegible]

～HPにはカラー版を掲載しています～

校舎の力・人のつながりの力

連休が明け、子供たちの声が戻ってきました。少し時間が空いてしまいましたが、「旧校舎見学会」と「離任式」についてお伝えします。

4月17日（土）の午後、延期していた旧校舎見学会を行いました。残念ながら、児童の見学はできませんでしたが、卒業生、地域の方、保護者の方、旧教職員も含めてたくさんの方がいらっしゃいました。「校舎の思い出プロジェクト」の児童の描いた絵も十分見ていただけたと思います。（お子様から自分の描いた絵の場所を聞いて見にいらした方もたくさんいました。）図書ボランティアの方が作成した「ありがとう」の掲示もこの日まで残しておくことができました。卒業生にとっては思い出多き校舎に入る最後の機会でした。今年、二十歳を迎えた卒業生は自分たちで保存していたタイムカプセルを開け、当時のことを思い出していました。

開催に当たり、受付等をPTA運営委員の皆様、校舎内の清掃を図書ボランティア、図工ボランティアの保護者の皆様にお手伝いいただきました。また、区教育委員会子ども教育施設課の方々も準備と当日の校舎管理をしていただきました。この力添えがなければ開催は難しかったと思います。大変ありがたく思っています。

見学会の様子を見ていると、思い出話に花が咲き、各々の方がその時その時過ごした思い出をお話しされている様子も見られました。お世話になった思い出多き旧校舎が人と人とをつなげていることに触れ、改めて校舎の持つ力も感じました。

5月17日に1, 2年生が遠足の代わりとして生活科学習で旧校舎に出かけます。この学習が旧校舎への最後の訪問になります。



4月23日（金）には、離任式を行いました。昨年度は7月になってから「先生とのお別れの会」としての実施でした。今年度は予定通り実施できて良かったです。副校長先生と3人の担任の先生が出席されました。教室と多目的室をオンラインでつないでの式でしたが、カメラに向かって子供たちに語りかける先生方、教室のTV画面をしっかりと見つめて先生たちからのメッセージを受け止める子供たちの姿がありました。「りにんしきのうた」も「校歌」も思わず声が大きくなってしまいそうな心のこもった式でした。式後に特にかかわりのあった学年学級の教室を個々に訪問、今度は直接お話することもできました。

帰りに校庭や廊下で個々、お話する子もたくさんいました。「先生、さようなら」「さようなら」と玄関から校門に行くまで何度も何度も振り返って手を振る子とそれを最後まで同じように手を振って見送る先生の様子を見ながら、人のつながりの力や出会いと別れの大切さを感じました。



7町会自治会合同防災訓練

8日(土)の7町会自治会合同防災訓練は規模を縮小して大人の訓練のみ実施予定です。コロナ禍であっても防災への備えは必要です。校舎を移転していますので、防災倉庫の確認、コロナ感染症対応にゾーニングの確認、コロナ対策で新たに配備された布製間仕切り、バーナーの点火訓練等、大人が知り、身に付けておくための訓練です。既に参加票をいただいておりますが、体調管理と感染症予防対応を行い、無理なくご参加ください。

中野区立南台小学校 令和 3年 5月 8日(土)

南台 校長室だより

令和3年度 No. 84

～HPにはカラー版を掲載しています～

i P a d 配布開始～ご家庭での約束事を

国のG I G Aスクール構想を受け、中野区で予算化された児童一人一台のi P a dの配布を本日より始めました。承諾書等のご協力もありがとうございました。校舎移転の中でしたが、お伝えしていた日に配布が開始できて良かったです（ホッとしています）。これですは、万が一の学校休業にも何とか備えることができました。

新しいアカウントの設定も1～4年生までは教職員が行いましたが、5、6年生は児童自身が学習も兼ねて行います。学年学級によって持ち帰る日は異なります。発達段階に応じて基本的な操作（カメラ機能等）と情報モラルにかかわる指導を行っています。

保護者の皆様には、これまでの配布資料に沿って、使い方や活用の仕方、ルール等をご家庭でも指導ください。「学習用」としての児童への配布です。活用の用途等も含めて十分ご留意され、ご家庭での使い方の約束事も話し合ってください。

昨年度は6年生にP Cと共にルーターの貸し出しがありましたが、本年度はありません。W i - F i環境はご家庭でも整えていただく必要があります。（本年度から就学援助費にもオンライン通信学習費が上乗せされています。）ご対応をお願いします。

配布によって、オンライン学習の環境が全て整うわけではありません。持ち運びや学校での置き場所等も含めて、必要な場面で活用する中で、わたしたち教職員もそのメリット、デメリット（効用）を見分けながら、まずは学習の道具として子供たちにとってよりよいものになるよう、工夫改善を進めていきます。

中野サンモールに「南台小のこいのぼり」

遅くなってしまいましたが、4年生が3年生の時に図工の学習で制作した「南台小のこいのぼり」が中野サンモールに泳いでいました。事前に詳しくお伝えできず申し訳なく思います。

昨年度は緊急事態宣言での学校休業の中でしたが、元気に泳いでいて「見に行くことはできなくとも」とお伝えしました。その時に味わっていた状況を思い出すと今、学校に子供たちが通って来られることはわたしたちにもとても幸せなことで、大きな喜びを感じています。

「南台小のこいのぼり」は写真で紹介しますが、学校に戻ってくることがあれば、端午の節句の時期は過ぎていますが、作品として展示し、見ていただこうと考えています。



登下校への対応～多田会館前

No. 82でお伝えした登下校への対応について、連休明け2日間、P T A運営委員の方と登校時間帯に現地の様子を確認をしました。商店街に出るいくつかの箇所の中で多田会館の前の交差点に見守りが必要という確認ができました。学校で6月からのシルバー人材センターの方の立ち番の調整をしています。P T Aからの呼びかけで5月中は保護者の方のボランティアでの見守りも確保できました。ありがとうございます。6日の全校朝会では、改めて交通安全を進める一番のことは、まず約束ごとをしっかりと守り、自分の目で確認することと指導しています。今後も継続していきます。ご家庭でもお願いします。

※緊急事態宣言が延長されました。お困りのことや相談したいこと等ありましたら学級担任までお申し出ください。

中野区立南台小学校 令和 3年 5月17日(月)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 85

6年社会科見学～国会・参議院体験

※「南台の顔」6年生の成長が楽しみです

緊急事態宣言下であっても校外学習は徒歩、または貸切バスでの移動という区の方針は昨年度と同様です。6年生が社会科見学で国会見学そして参議院での体験プログラムに参加しました。江戸東京博物館も予定していたのですが、残念ながら休館となり、その分は車窓からの官公庁巡りです。ここまで様々な想定の中で実施計画を練っていて、この先の移動教室等の行事も考えての実施、学習を止めない方策でもあります。

人数制限のため、1組が午前、2組が午後の体験プログラムなので時間差の別行程での実施です。わたしは1組と同行しました。たくさんの下級生、先生方に見送られて出発、中野通りでスムーズにバス乗車しました。バスの運転手さんと言っていたのですが、小学生としては珍しく石川さゆりの「津軽海峡冬景色」やQueenの「伝説のチャンピオン」が流れる車内もなごやかに過ごし、国会に到着しました。

まず、はじめに参議院の体験プログラムです。本校1学級単独で、国家公安委員会と本会議の体験でした。議長、委員長、大臣役等各学級それぞれ10人ほどが体験しました。進行役の方が「応援の拍手をしましょう」と投げかけると最終的に席に着くまで拍手が途絶えることがありませんでした。貴重な体験学習でした。

続いて、実際の本会議場も含め参議院の見学です。これも傍聴席に貸切りで座り、全ての説明を聞いて見学することができました。最後は小雨での記念撮影になりましたが、みんなで写ることができました。

憲政記念館では屋根のあるところで食事を上手にとりました。1組が食事を終える頃に2組が到着、昼食場所を交代してお別れしました。最高裁判所や皇居のお堀を歩いて見に行きました。その後の官公庁等見学では、バスで官公庁街を二回りしました。外務省、財



務省、経済産業省、農林水産省、総務省、警視庁、法務省、桜田門…とバス車内からの案内の中で進みます。2廻り目は覚えているかどうかの確認です。さすが子供たち…よく覚えていました。その後、武道館、半蔵門、千鳥ヶ淵等を巡って学校に戻りました。

6年生は「南台の顔」です。しっかり学ぶ姿に頼もしさを感じました。一方で、更に「自ら」、「進んで」という点での向上が求められると思います。日常の学校生活で力を付け、その発揮の場である日光丸沼移動教室まで2か月弱、6年生の成長と活躍が楽しみです。

多田会館前の歩き方＜登下校＞

登校時の見守り場所に多田会館前を加え、5か所にする方向で調整が進んでいます。PTA運営委員の方の呼びかけで5月中は保護者有志の方が立って下さっています。道路を渡るルートについてPTA運営委員の方や地域の方と検討し、別紙のようにまとめました。既に学校では各学級と全校朝会で指導しています。ご家庭でも確認をお願いします。

南台 校長室だより

令和3年度

No. 86

感染症予防と熱中症予防…水筒持参を

梅雨入りの便りも聞こえる中で、毎日、夏日とも思えるような日が続いています（27日は別でしたが…）。新聞報道やテレビのニュースで熱中症も取り上げられるようになってきました。本校では校庭での体育授業は次の点に気を付けながら進めています。

- ①運動前に水分をとるする。
- ②こまめに水分補給をする。
- ③休憩時間を確保する。
- ④教師の指導や児童の話し合い等はできる限り日陰で実施する。
- ⑤必要な時は距離をとって、マスクを外す。

マスクを外す場面では会話を避けることに努めます。昨年度の運動会の時も短距離走の前にマスクを外しました。この春、運動会を実施する学校もそのような対応を進めています。また、来月に予定している水泳指導ですが、その時も着替えた後の移動やプールサイド等でマスクを外している時には距離をとり、会話を避けることは同様の課題です。

また、本校では水筒を普段使いしています。ほとんどの子が持参しています。水分補給も一気にたくさん飲むのではなく、こまめにとることが熱中症の予防につながります。水道も使って水分補給は促していますが、もたせていただけるとありがたいです。水筒の中身に特に指定ありませんが、飲みやすいように考えていただけるとありがたいです。感染症と熱中症、両者の予防を考えながら教育活動を進めていきます。

P T A運営委員の活動紹介～ありがとうございます

今月はP T A会費の集金、登下校時の多田会館前の対応で大変お世話になりました。6月以降に実施予定だった1年生、2年生の給食試食会は残念ながら中止となりました。1、2年生を中心に給食の様子を次号に掲載します。

6月12日に実施予定の3年生の自転車教室の準備も進んでいます。当日の自転車を押しての登下校では付き添いをお願いします。また、他学年の保護者の方でも子供たちに声かけをお願いします。

また、P T A活動が円滑になるようにP T Aとしての情報配信メール、HP、運営委員会のオンライン開催等も学校とも相談させていただいています。ありがとうございます。

6年生と5年生の対決と盛り上がり

この春、各学年ともに体育ではリレーの学習を行っていました。ある日の午後、校庭ではいくつかのグループが作戦会議をしているようでした。手にバトンを持っている子がいます。「5年生だからって手を抜かないよ。」「6年生に勝ってみせる。」「絶対負けない。」というような声も聞こえてきました。5、6年生の1組、2組別でのリレー対決でした。どうやら5年生が6年生に挑戦したようです。大変盛り上がった結果は…。終了後、6年生から5年生にメッセージカードを作っているような姿がありました。本校の特色のひとつに異学年での交流（特に一つ上の学年から学ぶ）があります。今回は、子供の発想から出てきた大変うれしいコマでした。



中野区立南台小学校 令和 3 年 6 月 7 日(月)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 87

[illegible]

～HPにはカラー版で掲載しています～

給食の様子… 1, 2年生を中心に

PTA主催の給食試食会が見送りにになりました。昨年度、実施できなかったのも、その分も含めて1年生に加え2年生まで実施できるよう5、6年生の移動教室中に2学年分の計画を進めていましたが残念です。

これまで通り感染症対策を続けて、給食の配膳をします。人数が多い学級（３年生以上）は廊下で配膳をする学級もあります。発達段階に応じて子供たちもしっかり当番をして、先生を助けての配膳です。給食を食べる前にマスクを外します。話をしない「無言給食」です。本当なら…と思うのですが、仕方ありません。職員室も無言です。

1, 2年生を中心に給食の様子を写真でお伝えします。



給食室での調理の様子、教室での配膳や食べている様子、4月からのいくつかの給食献立の写真を掲載しています。詳しい説明までは掲載していませんが、お子様と話題にしてみてください。新型コロナウイルス感染症が終息し、会話を楽しみながら給食が実施できるようになることを強く願っています。



中野区立南台小学校 令和 3年 6月17日(木)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 88

～HPにはカラー版を掲載しています～

今年度の水泳学習の概要…

来週から水泳学習が始まります。今年度の主なねらいは、先週のお知らせの通り「水遊び・水泳運動」の中で「水中で運動する特性」に触れることです。「水の中は冷たくて気持ちがいいな。」「水の中は体が浮く感じがするな。」「水の中では息ができないんだ。」という感覚を学び、水の中で運動するという特性に応じた楽しさを体験できるように学習を進めます。感染症対策のために教室も含めて、空き教室、数力所の更衣室を活用しつつ、シャワーも含め、プールサイドまでの動きがスムーズにできるよう調整をしています。

水泳指導の期間は6月23日(水)～8月6日(金)です。検定は実施せず、9月1週目の水泳指導も見送ります。水難防止のための着衣泳はできませんが、夏季休業前に学級指導の中で水難防止についての指導を行います。

本校のプールは3階屋上にあり(図書室の上で、校庭から見るとグリーンのネットがかかっています)、プールサイドは他校に比べて大変狭くなっています。そのため、各学級単位で学習を進めます。2時間続きで枠をとっているため、夏季休業前までの枠は各学級3回程度です。天候にもよりますが、各学級2回入れれば良いと考えています。また、学級や児童の状況によっては更に学級を2分割することもあります。その時は、2時間の中で分割したグループが交代で入水します。水泳学習でないグループは別の学習を進めます。

昨年度は水泳学習が実施できていないことも鑑み、まずは冒頭のように水の中での感覚をしっかりと感じとることができるようにしていきます。

指導には基本的に教職員4人で当たります。本校の教職員2名と区から予算化されているプール指導員2名です。プール指導員は学校でも探していましたが、保護者の方や地域の方々の紹介で、FC新山と南中野スタリオンズ(都立富士高校アメリカンフットボール部)を通して希望する方を見つけてもらいました。大変ありがたく思っています。本校の大学生ボランティアに加えてプール指導員は9名でシフトを組んでいます。

校舎移転のため、この校舎のプール施設管理が初めて教職員がほとんどです。そのため、施設設備の最終点検やAED研修、救急救命研修を今週再度実施し、来週に備えます。

夏休み中の水泳指導についても各学級単位を基本に実施をします。2週間(10日間)という期間ですが、各曜日の午前に学年を割り当て学級毎での実施を考えています。

<例>月曜日:2年生…出欠の事前調査を行って人数を確定します。その上で、1～3組の時間を設定し、3サイクルを組み、学級担任3名とプール指導員で指導に当たります。各学年2回の設定になってしまいます。天候の具合によっては入水できない学年が出てきてしまうことも考えられますが、ご理解ください。

6園交流会～近隣の保育園が南台小を訪問

コロナ禍ですが、年長児の交流を進めようと、近隣6園の園長先生や年長担任の先生が南台小で会合をもち、年間を通じた交流会を計画しています。15日には3園の年長クラスが南台小の校庭に散歩に訪れて、互いにあいさつを交わし、校庭の探検をしました。今後のドッジボール大会や校舎内見学にもつながります。知恵と工夫が素晴らしいと思います。

<6園交流会>弥生保育園、南台保育園、中野みなみ保育園、
アートチャイルドケア中野南台森の保育園、
なかみなみコスモ保育園、中野南台ちとせ保育園



<出張からの帰りにあいさつ>



中野区立南台小学校 令和 3年 6月18日(金)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 89

～HPにはカラー版を掲載しています～

土曜授業～御礼

6月12日の土曜授業から1週間が過ぎました。全校一斉一律での学校公開はできませんでしたが、1, 2年生に限り分散型で授業の様子をご覧いただくことができました。登校してきた子供たちからは、「お家の人が来るんだよ。」「いつ来るのかな。」「恥ずかしいな。」というような声が聞かれました。楽しみにしているようで、ドキドキしているようで…様々ですが、これも貴重な体験だと感じました。

1, 2年共に2校時を3サイクルに区切ってではありましたが、時間を守って来て下さり、入れ替えにもご協力いただき、ありがとうございました。昨年度は1年生の授業の様子を見ていただくことができたのは、入学式に代わる写真撮影と共に11月でした。4月から登校時にお子様を送ってきてくださる際にも、「教室の様子、見てみたいです。」とお話することも多く、できるだけ早い時期に…と思っていました。今回15分ですが実現できてよかったです。

3年生以上はGoogle Meetで教室の様子を映し出しました。つながりにくくなることもありました。3年生以上も実際に見ていただきたいのですが、現段階では35人以上の教室はなかなか通常の公開はかなり難しい状況です。今後も様々な知恵を絞りつつ、子供たちの様子を見ていただきたいと思っています。



3年生自転車教室・自転車点検～3年ぶりにできました

雲で太陽が隠れ、風が吹いている絶好の天候になり、3年生の自転車教室を3年ぶりに実施することができました。自転車を押してくる際に、保護者の皆様もたくさん付き添って下さいました。この日は「通学路安全運転呼びかけ隊」の活動日でもあり、本当にたくさんの方の見守りの中での登校でした。PTA運営委員の方やサポーターの方は朝の時間の受付から始まり、自転車点検と自転車教室の両方の運営とサポートでした。3年の学級担任と共に放送の準備、自転車走行コースのライン引きまでありがとうございました。

1校時に体育館で学習した後、各学級を半分に分け、約20人が校庭での実際の自転車走行、残り半分が教室での学習です。自転車を押して順番を待つ姿からは、しっかり乗ってみたいという意欲が感じられました。衝立を使って視界の悪い交差点を作り、安全確認をする場面では、実際の軽自動車に田中PTA会長が乗り込み、子供の動きに合わせて、クラクションを鳴らし、ドライバーとのアイコンタクト（安全確認の際に、実際に運転している人と目を合わせる）の対応をにこやかにずっと続けて下さいました。大変見事なフットワークのよさで、「うちの自慢の会長なんです！！」とサポーターの方が口々におっしゃっている笑顔にうれしくなりました。3年ぶりに実施できた自転車教室・自転車点検、ありがとうございました。



南台 校長室だより

令和3年度

No. 90

～HPにはカラー版を掲載しています～

キッズ・プラザ新山が共にある…

統合再編校である南台小学校の校舎移転にかかわる変更はこれまで2回ありました。「大規模改修」から「新築工事」への変更、擁壁工事への対応で2年間から4年間への工期の変更です。その都度、地域、保護者の皆様には状況のご理解とご協力をいただきました（教職員もその度に様々なことを考えました。）子供たちもその時のことを受け止めつつ、残念に思いながらも前向きに進んだおかげと思っています。

検討の中のひとつに、現校舎の施設の在り方がありました。「学校の教育活動を阻害しないための教室の数や特別教室の設備はどうするのか。」「学年が一堂に集まれるスペースはどう考えるか。」「児童数との兼ね合いで校庭の広さはこれでいいのか。」「校舎移転に伴い併設のキッズ・プラザや学童クラブをどのように考えていくか。」…等の検討が、新築される校舎以上に行われました。その結果、本校校地にはプレハブが残り、併設のキッズ・プラザ新山が再開し、さらにそこに新山学童クラブがあります。

その分、校庭は旧校舎よりも相当狭く、1／3程度になってしまいました。できることは限られ、休み時間も2学年に絞っての外遊びにしています。その分、体育館、屋上でも遊べるようにしています。トラックのカーブがきつく、走りにくさもあります。が、体育のリレーの学習ではバトンパス以上にカーブの走り方にもポイントを置いた指導を実施しています。これらは施設設備に応じた対応や指導です。

放課後の様子を見てみると、校庭で遊ぶ子がたくさんいます。校庭が狭いこともあって、校舎と遊ぶ子供たちとの距離が近いです。それは先生たちと子供たちの距離も近くしています。これから、キッズ・プラザが共にある（存在する）よさを生かしていくことが最も大事で、子供にとってよいことをたくさん考えたいです。

そんな中で、日々のうれしいことがいくつか…

- ①学校で少々トラブルがあって、放課後のことを心配した担任の先生が直接、キッズプラザ新山まで行って、統括リーダーと相談する姿を見かけました。子供のことにについてすぐに相談できる関係も素敵です。
- ②放課後、引越の片付けをするために、けやきルームのあるプレハブ2階への階段を上っていました。その日はキッズプラザは6年生の考えたイベントの日でした。わたしたちを見つけると「こんにちはー。」から始まって、「あーっ、先生たち何してるのー？」「今からみんなで、遊びまーす。」そして「いっしょにやらない？」などの声が自然に聞こえました。これは旧校舎の校庭の遊び場開放ではなかなか聞くことのできない声です。わたしは、心からうれしく思い、はりきって荷物運びができる程でした。
- ③光化学スモッグ注意報が発令すると校庭で運動ができません。放課後のキッズプラザも体育館での実施です。リーダーがすぐに職員室まで来て、「発令されました。放課後の体育館をお願いします。」という話になります。学校の放送がスイッチを間違えて校庭まで聞こえているようなことがあるとそんなこともすぐに教えてくれます。



スタートから2カ月半、同じ校地に「キッズ・プラザ新山」が共にあるよさを生かす視点で、施設の活用や活動の工夫を学校としてもお手伝いしていきます。このことが4年後の新校舎完成後のよりよい複合施設の姿の在り方にもつながっていくことになります。

中野区立南台小学校 令和 3年 7月 1日(木)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 91

[illegible]

～HPにはカラー版を掲載しています～

地域からのあたたかい贈り物

少し前になりますが、5月に南台地域の7町会自治会合同防災訓練がありました。残念ながら、子供たちの体験訓練は中止になり、大人の方だけの間仕切りの設置、バーナー点火、トイレ組み立て、コロナウィルス感染症対策と避難所…という訓練が実施されました。何度もバーナーの点火を行い、新たに点火方法を理解できた方も多かったと思います。

子供の体験が中止になってしまったので、アマビエのイラストの入ったウェットティッシュとかっぱまつりでのかっぱのイラストの入った手作りの防災通信を全児童にいただき配布しています。

また、「つながろう！南台」の横断幕も実行委員会から児童会にいただき、代表委員会児童が6月の全校朝会で受け取りました。防災においても「つながり」は大変重要で、「防災横断幕」としていただきました。ありがとうございます。あたたかさを感じる贈り物です。ご紹介が遅くなりましたが、正門脇に設置しています。



校舎外回りの草花たち…地域の方々のやさしい気持ち

4月の移転後、校舎外回りはいつでも花が咲いています。毎日、近隣の方がお世話されています。同時に子供たちも見守って下さっています。学校の周りのこともよくご存じです。様々な色や形のアジサイ、マリーゴールド、バラ、アシタバ、シソ、ブドウ…たぬきの置物もあります。学校にお越しの際には、少しゆっくりとご覧になって下さい。

この草花も地域の方からのやさしい気持ちをいただいているようです。



中野区立南台小学校 令和 3年 7月 2日(水)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 92

大和町の農家～中野区歴史民俗資料館

29日は3年生の社会科見学でした。今年度は区の社会科見学のバス予算が3学年分となり、見学地の距離等も考えて4年生以上で活用しています。その中で、私費になりますが区内北部の歴史民俗資料館と大和町の農家を巡る社会科見学を計画しました。

計画を立てるに当たり、見学地に加え、バス会社との交渉の中で天候等も考えた行程を様々に検討しました。午前中の1組が【学校→歴民→農家→学校でお弁当→授業】、2組が【授業→学校でお弁当→農家→歴民→学校】という行程を組みました。できる限り私費を抑えることも考えた知恵と工夫には唸るものがありました。（なかなかない見事な計画だと思っています。）区内の他の学校が参考にしているようです。

当日、天候が大変心配でした。雨によって農家の畑の状況が悪く、畑に入れないこともあるからです。結果…雨も降っていましたが、農家の松本さんのご厚意により、畑にシートも敷いていただき、しっかりと見学ができました。学習意欲に燃える3年生とそれを支える担任2人の努力によるものと思います。

大和町の農業を営む松本さん（社会科副読本「わたしたちの中野」に掲載）と昨年、開館依頼初めてリニューアルした中野区歴史民俗資料館の見学です。写真で紹介します。

＜大和町の農家 松本さんと子供たちのやりとりから…＞

○水はどのぐらいあげるんですか？ 朝早くか、夕方あげるんだよ。そして…今日はあげてないよ。えっ、どうして…あっ、分かった雨が降ったからだ。そう、水をあげすぎはよくないし、暑い時間は蒸されてしまうんだ。

○めずらしい野菜はありますか？ かぼちゃが大きくて1個食べられないっていう声があるんだ。…そこで、ミニかぼちゃっていう半分ぐらいの大きさのかぼちゃを作ったらものすごく喜ばれたんだよ。

○野菜はどこで売っているんですか？　うちの野菜は杉並のファーマーズマーケットに出しているよ。それ以外は全部畑で売っているんだよ。だから、収穫してすぐに甘さが抜けていく枝豆やトウモロコシを楽しみにしてしてくれる人がたくさんいるんだよ。いつですか？いつですか？って聞かれるとうれしくなるんだよ。

＜歴史民俗資料館 見学後の感想から…＞

○初めて来ました。色々な展示があって、中野区の知らないことがよく分かって良かったです。

○昔のものをたくさん見ました。触ってみたいです。もっと時間があつたら、もっと詳しく見られたと思います。

○1階の中野の町の歴史をタッチパネルを動かして何度も見ました。昔の町の名前が分かりました。



中野区立南台小学校 令和 3年 7月13日(火)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 93

～HPにはカラー版を掲載しています～

6年：日光丸沼移動教室を振り返って…

～めざせ！ 「あこがれ」の6年生！～

梅雨の中でも天候に恵まれた移動教室でした。大きく体調を崩すことなく、予定の行程もほぼできて楽しく思い出に残るものになったことと思います。昨年度は実施できなかった移動教室、6年生にとっては最初で最後の移動教室でした。6年生のスローガンは、

- ①他の人に思いやりの気持ちを持ち、協力して集団生活を送ろう！！
②自然や文化に触れて、日光・丸沼への思いを深めよう！！ の2つでした。

事前学習から移動教室当日、そして事後学習とこのスローガンは貫かれています。移動教室の3日間、6年生のよさを感じる場面もたくさん見られました。それは、「内容をしっかりつかんでいることは確実にできる」ということです。しかし、移動教室中、自ら行動しなければなりません。そこで、「よいところをもっとよく」して欲しいと伝えました。

そのためには、自ら貪欲に情報をつかんでいくことが必要です。「よく考えながら話を聞く」、「考えながら、しおりで確認する」です。先生方からも改善点の指摘があり、班長会や係の活動でも「ここはこうしていこう!」と前向きに進んでいったと思います。移動教室を通して「当たり前前のレベルを上げる」こともできたのではないかと思います。

素敵な6年生です。6年生が「あこがれ」の存在なら、学校は大丈夫と言われます。今年度の6年生がどんな「あこがれ」になるかとても楽しみです。移動教室で身に付けた力を生かしていくのはこれからです。

※保護者、地域の方々をはじめ、たくさんの方が学校HPの移動教室コーナーを見て下さいました。そして、「本当に行けてよかったですね。」の声も…ありがたく感じています。



南台 校長室だより

令和3年度

No. 94

プレハブ棟も教材～地域ふれあい学習

6年社会科：みんなの願いを実現する政治

本校では、連携教育の核として「地域ふれあい学習」とネーミングした学習があります。「地域ふれあい学習」とは…主として以下のような学習です。

- ①地域や学校についての学習
- ②地域に出かけて、地域にふれる学習
- ③地域の施設や企業での学習
- ④地域の方や専門家等の外部人材（人財）をゲストに招いての学習
- ⑤地域の学校や幼稚園、保育園、関係諸機関と連携した学習
- ⑥地域や保護者の方が共に参加する学習 等

昨年度の校舎の思い出プロジェクトや訪問、保護者の方のボランティア参加等も含まれ今年度も既に全学年で実施しています。図工科では「地域ふれあい展示」も行っています。

その「地域ふれあい学習」の紹介です。6年生が5月～6月に社会科で「みんなの願いを実現する政治」の学習をしました。教科書では埼玉県川口市の「あすぱる」という児童センター（児童館）を取り上げていましたが、学習の中で「そういえば、キッズプラザはどうやってできたのだろうか？」という疑問も湧き上がっていました。区役所の子ども教育施設課に移転も含めお世話になっていたので、率直に相談したところ、課長さんが来校して発展教材として授業を実施する運びとなりました。はじめはゲストティーチャーとして学年でお話を伺う予定でしたが、内容を詰める中、各学級に参加、学級担任とのTT授業としての実施になりました。正に担任と2人でかけ合いながら学習を進めていきました。

キッズプラザのあるプレハブ棟は、みなみの小移転とともに取り壊しが決まっていたが、移転準備連絡委員会や学校、地域、保護者…様々の方の意見を聞き（ここには児童の校舎へのアンケートも入っています。）、残していく方向に計画変更になりました。

ブレハブ棟のリース料は毎月約132万円、これが4年の延長です。また、仮の建物であるブレハブの延長は建築基準法にも基づいた調整が必要でした。授業では、法律の壁と予算の壁を乗り越え、補正予算への議案を作って、子ども文教委員会でその必要性を説明、議決を経て成立したという経緯を分かりやすく、疑問も投げかけながらお話いただきました。「あすばる」という典型的な教材での学習の後、「キッズプラザ新山」のブレハブ棟という具体的な教材で大変身近に感じたのではないかと思います。

そして、身近な内容に加え、学級担任と塚本課長の絶妙なかけ合いや受け答えが子供たちの意欲も高め、よく考える学習につながっていったと思っています。塚本課長は学習の最後に、「中野区内の学校施設みんながよくなることを考えて仕事をしています。どうぞ将来、中野区役所にも就職して下さい。」とお話されました。授業が終わっても生き生き質問する子供の姿があり、印象的でした。当日は施設課の本校担当の方、キッズプラザ新山の所長さんと統括リーダー、運営委員会の方も資料提供に加え、学習の様子を見て下さいました。たくさんの方のおかげでできた授業でした。ありがとうございました。



<6年生の学習のまとめ、感想から>

○最初は自分たちの税金を使っていることだけがかかっていると思っていたけれど、話を聞いて自分たちがどうすればよりよい学校生活を送れるかというように自分たちを思ってくれている人だなと思いました。キッズ・プラザは1年生の時から行ってはいなかったけれど、マンガや大会などがあって少し行きたくなりました。自分たちのために法律の壁、予算の壁をクリアしてくれているから今の学校生活ができています。塚本さんや区役所の人はずいぶんと思います。これからはプレハブをこわして、校庭が広がって欲しいと思っていても、なくなったらどうなるかも考えてみたいです。また、そういうことを言う子がいたら簡単に説明してあげたい。

○今回、プレハブを支えてくれたり、推してくださる塚本さんたちに授業をしてもらって教科書より分かりやすく、教科書に記さいされていないことも学ぶことができて本当によかったと思います。今、図工室や算数少数教室があるのは塚本さんのおかげだなという感謝の気持ちを思いながら、これから使っていきたいです。また、下級生にもこのプレハブについて教えてあげて、感謝の気持ちを忘れないで欲しいと思います。

○この南台小学校のしき地の中にプレハブがあるのは当たり前だと思っていました。けれど、今も残っているのは、教育委員会の人たちが補正予算案を区議会に提出するなどのことをしてくれていると分かっておどろきました。なので、プレハブが今残っているのはとてもすごいことなので、大切にしていきたいと思いました。そして、自分たちで良くするキッズ・プラザを意識していきたいです。

南台小学校社会科特別授業
みんなの願いを実現する政治
 中野区教育委員会事務局
 子ども教育施設課長
 塚本 剛史 様 を迎えて
 令和3年7月14日(水)



プレハブ棟設置の経緯
 ○そもそもプレハブとは？
 ○レンタル料が発生
 →毎月約 円
 ○なぜ、設置したのか？
 ○プレハブ設置期間は？

プレハブ棟設置の経緯
 ○そもそもプレハブとは？
 ○レンタル料が発生
 →毎月約**132万円**
 ○なぜ、設置したのか？
 ○プレハブ設置期間は？

プレハブ設置期間の変更
 ○南台小新校舎建築が
 2年間→4年間へ
 ○キッズプラザ、学童は
 学校敷地内に

プレハブ設置期間の変更
 狭くても2年なら…我慢も
 …でも、4年は…長い…
校舎移転準備連絡委員会
 町会長 PTA役員
 学校評議員 校長 副校長

プレハブ設置期間の変更
 4年間の学校運営を考え
 ると…大変厳しい…
 図工室…けやきルーム…
 算数少数教室…相談室
学校長より

プレハブ設置期間の変更
教育委員会での議論
 プレハブがなければ校庭
 は広いが、総合的に考えて
 プレハブを残す方向に計
 画変更する。

設置期間の変更の手続き
プレハブを4年+4年
残すのは異例中の異例
 まずは建築法上の手続き

設置期間の変更手続き
9月以降のプレハブ棟の
レンタル料の確保
 令和2年度予算は決定済

設置期間の変更手続き
年度途中の新たな予算
→「補正予算」
 中野区議会に提案と議決

設置期間の変更手続き
中野区議会第2回定例会
「補正予算」を議案提出
 子ども文教委員会で審議
 プレハブの必要性の説明
 →補正予算成立

課題～調べてみよう
中野区議会会議録
令和2年
子ども文教委員会

南台小学校社会科特別授業
みんなの願いを実現する政治
みんなの願いを実現する政治
塚本 剛史 様 から
 令和3年7月14日(水)

みんなの願いを実現する政治
わたしたちの
キッズプラザ新山
キッズプラザ新山運営委員会



第94号を試行として、
 6年生のGoogle classroomに掲載していくことを考えています。

中野区立南台小学校 令和 3年 8月 6日(金)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 95

～HPにはカラー版を掲載しています～

夏の各種開放へのご協力に感謝

夏季休業を迎え、17日が過ぎました。この間、東京オリンピック2020が開催され、夏季休業中に来校する子供たちとの話題の中でも様々な種目のアスリートの活躍が上がり、オリンピック競技に触れ、心を動かしていることが分かります。一方では新型コロナウイルス感染症の再拡大で緊急事態宣言が延長されました。本校では感染症対策を講じながら、子供たちの活動は止めない方向で継続をしてきました。区内小学校では、8月の末から移動教室を予定している学校もあり、その対応が区全体で進んでいる最中です。夏季休業明けの9月には、第5回運動会を予定しています。また、10月には一度延期になった5年生の軽井沢移動教室があります。感染状況が落ち着いていくことを願っていますが、同時に様々な想定も考えていく夏季休業でもあります。

本日、夏季水泳指導の最終日でした。5年生が各学級、6年生が学年で入水し、本年度の水泳指導は終わりました。プールサイドの広さ、動きの想定等で各学級での水泳指導を基本として実施しましたが、授業の水泳指導と合わせて全学年3回～4回のプールでした。実施できたことは、様々な方にご理解ご協力をいただいたお陰です。学級担任が指導するので、水泳指導員の確保が大きな課題でしたが、本校施設を使って活動しているF C新山と南中野スタリオンズ（都富士高アメリカンフットボール部）にはたくさんの人材をご紹介いただきました。本校とのかかわりを今後も互いに大切にしていきたいと感じています。

先週まで実施した「夏の寺子屋南台」は各学年担任副担任で指導に当たりました。例年と異なり、学年のペースでの実施となり、通常よりもたくさんの児童に声をかけたり、習熟度別のコースを作って指導したりすることができました。同時に南中野中学校の中学生に「南中ボランティア」として個別指導のお手伝いをお願いしました。この中学生も小学生との会話の中からコミュニケーションも生まれ、一生懸命かかわってくれました。南中野中学校の竹之内校長先生はじめ、担当の先生方のご尽力のお陰と思っています。

図書室開放では、1週間毎日貸出、返却ができるようにしたところ、プールの前後に図書室に寄る児童が増えました。保護者の図書ボランティアの方々にも貸出、返却をお手伝いいただきました。図書室は同時に「学習スペース」として開放していましたが、毎日、計算ドリルや夏休みの宿題に取り組む児童がいました。この見守りを南台四丁目東町会の皆さんにお願いし、毎日2名の方が図書室に来て下さいました。校舎移転もありましたが、昨年度の取り組みから一歩進みました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



うれしいお知らせ～新山クラウンズ都大会決勝戦へ（9日決勝）

8月5日（木）東京新聞朝刊東京版に本校児童が多数所属する新山クラウンスの記事が掲載されていました。1日に東京都知事杯（第44回東京都学童軟式野球大会）の準々決勝と準決勝があり、新山クラウンスが苦しいダブルヘッダーを勝ち抜き、決勝にコマを進めたという内容で、本校児童の活躍もたくさん書かれていました。夏季休業中に様々なことに挑戦している子供がいます。貴重な夏にしたいですね。 **＜裏面に記事を紹介します＞**



中野区立南台小学校 令和 3年 9月13日(月)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 96

～HPにはカラー版を掲載しています～

はりきって、おだやかにスタート

授業再開から半月になります。9月1日から子供たちははりきって登校してきました。友達と会えること、みんなで遊べること、学習することを楽しみにしていました。一方、改めて感染症予防についての確認をし、「なぜ、このようなことをしなければならないのか。」を全校朝会で各学級で伝えました。「鼻までマスク」、「食事後にも手洗い」、「給食を食べる時の無言」をポイントとしています。ご家庭でのご家族も含めた健康観察へのご協力もありがとうございます。前期後半が始まりました。

様々なことをはりきっているけれど、おだやかなスタートが切れました。感染症予防の他に「人の話を考えながら分かって聴こうとすること」も全校共通のポイントです。各学級で子供たちは先生を助け、時間を生み出して生活、学習する様子が見られます。

その一方で、個々にはこの節目のリズムに乗れないこともあるかと思います。心配事がありましたら、担任まで申し出てください。しっかり相談し対応していきます。

3年生になってがんばったこと

ぼくは、3年生になって算数のあまりのあるわり算をがんばりました。はじめは、あまりを考えることがむずかしかったです。しかし、算数のじゅぎょうで、あまりを考えたときには、ひき算をつかうことや、あまりの数がわる数よりかならず小さくなることなどを学んで分かるようになりました。今では、あまりの数がすぐに頭にうかんでくるようになりました。ぼくは習ったことに気をつけて、くり返し問題をとくことで算数が分かるようになってよかったです。算数をこれからもがんばって問題をとけるようにしたいです。

(3年児童代表)

以上の文章は7月の夏休み前朝会での児童代表の言葉です。がんばりたいことを見つけ、それに取り組んだ様子やその気持ちがよく分かります。前期後半、一人一人が自分のチャレンジしたいことに挑戦し、自分の力を伸ばしていったと願っています。

旧校舎の解体が始まりました

旧校舎の解体作業が始まりました。「8月23日から作業が始まります。」という区教育委員会からの連絡をいただき、旧校舎を訪問しました。初日は正門の取り外しとフェンスの設置でした。重機で正門が取り外されるのを目の当たりにし、大変複雑な思いになりました。正門の校名プレートを外してくださったので、メモリアルコーナーに設置します。

子供たちには13日の全校朝会で(株)ペンてる、Canonからいただいた「校舎の思い出プロジェクト」のパネルと共に正門の外されている写真、校名プレートを紹介しながら旧校舎解体のお話をしました。

新校舎への移転は令和7年4月です。3年以上の工事が続きます。工事車両の安全誘導や新校舎建設の進捗は月1回、施工業者、教育委員会等関係者で連絡会をもって進めていきます。新校舎のイメージ図も玄関事務室前、保健室前、地域コミュニティ室に掲示しています。ご来校の際に見てください。



<本校児童が所属する「オール中野ガールズ」が都の学童大会で優勝、東京中日スポーツに掲載されました(裏面)>

南台 校長室だより

令和3年度 No. 97

～HPにはカラー版を掲載しています～

後期がはじまりました

昨日より後期が始まりました。土日を含んでの前後期の切り替わりなので、なかなか難しいかもしれませんが、「節目」であることに変わりはありません。後期への弾みをつけて後期をはりきって過ごして欲しいと思います。新型コロナウイルス感染症流行もある一定程度の落ち着きを見せています。今週は5年生の軽井沢移動教室、そして来週末には第5回運動会が控えています。

前期終業式では1年生が、後期始業式では2年生が児童代表の言葉を立派に述べました。聴いている子供たちには「自分はどうかな？」と考えながら聴くことを求めました。各々が心新たにスタートを切りました。

わたしはぜんきにとうばんをがんばりました。おてがみはいたつをがんばりました。はじめのいっぽのおてがみをとりにいくとき、こうちょうせんせいがとなりでいつもあいさつをしてくれて、ほんとうにきもちがよかったです。

こうきもあいさつをして、がんばりたいとおもいます。ほかのせんせいでもあいさつをしたいとおもいます。とうばんのおしごとは、とてもたのしかったです。 (1年児童代表)

わたしは前きの間、はしるのがすこしにがてだったけれど、今ではすきになりました。なぜかという、お父さんと弟が自てんしゃで、わたしがはしるれんしゅうをつづけたからです。もっとはやくなるためには、休み時間に、校ていやおく上にたくさん出ていっばいはしることだとわたしは思いました。

また、わたしは、かん字を書くのがにがてなので、かん字を書くことをすきになりたいです。そのためには、とめ、はね、はらいをいしきしてれんしゅうします。しゅくだいでもくふうしたいです。わたしは、ふだん生活した中で、かかりかつどうのかんさつかかりを一番がんばりました。すこし前、みんなにはっぴょうをしました。なぜかというみんなにかんさつの楽しさをしてほしいからです。

また、わたしはわすれものが多かったので、わすれものをしないようにしたいです。そのためには、毎朝チェックをして、わすれものをしないようにしたいとわたしは思いました。 (2年児童代表)

様々な取り組みが…音楽隊・開放・幼稚園・講座…

学校を使った様々な取り組みができるようになってきました。音楽隊の朝練習はスタート、この土日には、みやし幼稚園の運動会も開催、体育館では多田バスケットボールクラブの練習があり、地域の方によるバリアフリーマップづくり講座も実施できました



生活科見学（1年）＜和田堀公園＞延期のお詫び

昨日、夜の時点で「雨」予報が大変強く、夜のうちに延期対応を進めました。本日、天候が変化し、雨予報は弱まりましたが、27日に予備日に延期します。朝早くからご準備いただいたことに感謝いたします。実施できず申し訳ありませんでした。子供たちと予備日の27日にみんなで出かけることを楽しみに、新たにしっかりと準備を進めていきます。



中野区立南台小学校 令和 3年10月19日(火)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 98

～HPにはカラー版を掲載しています～

様々な方々のおかげ…軽井沢移動教室

7月からの延期、そして区全体の調整で1泊2日での実施となった5年生の軽井沢移動教室ですが、感染症が収まり、天候にも恵まれて無事に全員参加で実施できました。延期、縮小であっても子供たちは前向きに楽しみにしていました。

見学コースやプログラムは子供たちと相談して軽井沢の現地に行かなければいけないことを中心に組み直しました。出発時に前向きに物事に取り組んでいく5年生と伝えましたが、移動教室中、様々なことを進んでいき、楽しむ姿が随所に見られました。2日目には食事の準備、部屋の片付けと素早くみんなで行うようになりました。3日目があったら更にきっと…と思いますが、それは来年、6年生の移動教室にとっておきましょう。

今回の軽井沢移動教室の延期実施の実現にはたくさんの方々にお世話になりました。土日も含めた延期日の設定とバスの確保（バスガイドさんは確保できませんでしたが…）、コースの再設定（残念ながらキャンセルした施設もあります）、休業日の中でナイトウォークの専門家のガイドさんを揃えて対応してくださったピッキオのスタッフ、早い夕食と遅めの入浴に対応してくださった少年自然の家の皆さん、時間差をつけて案内、買い物をさせてくださった発地市場の方々…。忙しい1泊2日の行程の中でもしっかり活動できたのは様々な方のおかげです。

1日目に訪問した松井農園の方はこのようなことをおっしゃっていました。

「やはり、コロナ過で訪れる人が少なくてみんなが困っています。物品の流通も厳しく、出荷できないレタスをどうぞお持ちいただけたらと思っています。でも今回、移動教室で軽井沢に来てくれていろいろなところがうれしく思っています。お弁当屋さんもそうだし、見学先の施設もそうです。もちろん、中野区の宿泊施設もそう思っていると思います。早く普通の形でみなさんが来てくれるようになるといいなと思っています。」

社会とのかかわり、軽井沢現地の訪問先の方々とののかかわり、見えないところで対応している方のかかわりがあって、5年生学年学級の仲間とののかかわりが深まった軽井沢移動教室となりました。何より子供たちは前向きに活動していました。延期、縮小とありましたが、保護者の皆様には準備段階からのご理解、ご協力をありがとうございました。



晴れ渡った青空



アプトの道から…



真っ赤に熟したリンゴ



アップルカッターで…



ピッキオナイトウォーク



学園の方のお話…



iPadも活用



佐久パラダスレチック



中野区立南台小学校 令和 3年10月21日(木)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 99

～HPにはカラー版を掲載しています～

改めて、授業力の向上とその支援

学校生活の中で最も長い時間は、「授業」です。その授業の充実のために、わたしたち教職員はよりよい授業（授業改善）を目指して、授業力の向上に取り組んでいます。いえ、取り組まなければなりません。授業力とは以下のような要素があるとされています。

教材解釈・教材開発 指導技術（授業展開） 児童・生徒理解
統率力 使命感、熱意、感性 「指導と評価の計画」の作成・改善

授業力と言うと指導技術（授業展開）と思われがちですが、わたしは使命感や熱意、そして児童理解などは大変重要なことだと考えています。

この授業力向上に向けては校内校外で様々な研修の機会を設けてきましたが、改めて9月より若手教員を中心にその支援を強くしました。各々のよさや課題に応じ、学校行事（運動会等）の実施計画・運営に力点を置いたり、先輩と共に教材研究をして授業を公開したり、チームティーチングで授業にかかわっての研修（TT授業力向上研修）を進めたりしています。

また、指導力向上と児童の育成を直接結び付ける学校の校内研究では、そのテーマを「豊かにかかわり合い、よさや違いが分かり、認め合うことのできる児童の育成」を本年度も継続しています。

その上で「自ら進んで考える子になって欲しい」という願いから「主体性」を取り上げ、iPadの導入もあり「ICT活用」も含めて「主体性を育むICTの可能性を求めて」を本年度のキーワードとして全教職員で研究を進め、学び合っています。

先日、6年道徳科の授業研究がありました。ICT画面を活用し「星野くんの二るい打」という教材を読み聞かせし、「きまりの意味（規則の尊重）」について考え、話し合いました。話し合いの中では新たにiPadにインストールされた「コラボノート」というアプリケーションを使って互いの考えを交流しました。全体の話し合いでは普段使っている黒板を活用し、子供たちから次々と話される考えを子供たちと共に黒板に記していきました。

授業では、「チームのきまり」の意味を考える中、先生が発言を受け止め、悩みながら、「どうまとめて書こうか？」と投げかけると子供たちも悩む中、ある子が「信頼が深まる」と話し、それを受け「一致団結」ということが上げられ、ねらいが達成されていきました。このねらいが達成する瞬間を全教職員で参観し、共有することで全体の授業力も高まっていきます。この学習はICT一辺倒でなく、毎日積み上げている学級の話し合い活動の成果も垣間見えました。正に「ICTの可能性を求めて」ということです。学習のどのような場面でのICT（iPadも含め）の活用が有効なのかをこれからも探っていきます。

<TT授業力向上研修>



<ICTを活用した授業改善>



土曜日は第5回運動会です。コロナ禍でも、子供たちは一生懸命を忘れず競技したいと思います。様々な制限もありますが、ご支援をよろしくお願いします。

通学路バリアフリーマップづくり体験講座報告（裏面）をご覧ください。

南台小学校 通学路のバリアフリーマップ &あなたの街の安心安全マップづくり体験講座 報告

NPO法人リープウィズドリーム
理事長金子氏による「バリアフリーとは？」
「車いすの使い方」の講義、(株)エブリワンズ
ロケーションの大矢氏から、障害のある家族と
の日々の暮らしについての話をうかがった。そ
の後、3チームに分かれて通学路の調査に出発。

2020年10月10日開催
南台小学校地域コミュニティ室
参加者 児童5人
地域6人
サポーターの会4人
講師1人

参加者の意見から



- ・くるまいすにのっている人もたいへんだけど、おす人もたいへんなのがわかりました
- ・日ごろ何気なく歩いたり、車で通ったりする道路に危険個所が多いことを改めて理解しました。



学校、町会、民生児童委員、NPO、ボランティア、様々な立場で、地域の子どもたちを見守り、応援していく大切さを感じた1日となった。



中野区立南台小学校 令和 3年10月29日(金)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 100

～HPにはカラー版を掲載しています～

どんぐりたくさん！ 1年和田堀公園

運動会明けの２７日、１年生が生活科見学で杉並区大宮にある和田堀公園に出かけました。１０月上旬に一度延期になっていました。今回も天候が心配されましたが、当日朝の予報、今後の予定も鑑みて実施の運びとなりました。比較的近い場所なので、行ったことのある子もいましたが、１年生がみんなで路線バスに乗って出かけるのは初めてです。

中野区教育委員会からの通知で、10月から近郊で密を避けることができれば、校外学習での公共機関の利用が可能になりました。1年生の教職員が、バス会社と何度も相談して、混雑する路線、時間帯を避け、1台に20人程度なら可能という回答がありました。そこで、バスでは学年を4つに分割し、現地での活動は各クラスごとに行う実施計画を立てました。各バスに2名（計8名）の引率で出発です。

1年生はみんなとても楽しみにしていたようで、はりきって出発、バスでもお話を極力減らし、周りを考えながらの乗車はなかなか上手でした。しおりをよく読んでいて、降りるバス停もしっかり覚えている子が何人もいました。歩き方やバスの乗り方も生活科の学習の一環です。どんぐり拾いの時にパラパラと雨が降ってきましたが、大きな木の下で夢中になって拾います。途中からどんぐりの形や色、大きさを見て拾い始める子もいました。善福寺川にいるカモがどんぐりを食べることを見てビックリ！という場面もありました。

小雨がやみ、昼食場所付近の広いケヤキ広場に移動して過ごします。どんぐり拾いを続けながら、今度はしおりを見て種類を考えている子も登場しました。途中から広い場所で思い切り遊ぶ姿も見られました。大きな声も聞こえます。友達との笑い声も聞こえます。

あっという間にお昼の時間です。距離をとり、話を控えてのお弁当ですが、子供たちは笑顔でした。また、雨が少し降り始めたので、急いで食べ切る子もいました。時間差での帰路でカッパが必要なグループもありました。バスは帰りも上手です。学校に戻った後、その日のうちに振り返りも始めることができました。次の日、職員室前で1年生に会うと、「昨日はありがとうございました。」、「みんなで行って楽しかった。」、「どんぐりで作るもの決めたよ。」とたくさんお話してくれました。この先の生活科の学習も楽しみです。

保護者の皆様には2回目のお弁当をありがとうございました。



バス停から和田堀公園へ



最初のどんぐりひろい



クラスで記念写真



先生、こんな発見したよ



穴のあいたどんぐりだ！



荷物をまとめて…



お昼ごはん



帰りはカップも着て…



中野区立南台小学校 令和 3年12月 2日(木)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 104

～HPにはカラー版を掲載しています～

「心を動かす展覧会」開催！

作品の準備、展示が整い、本日、12月2日(木)「つながろう！南台」をテーマに第3回展覧会の鑑賞がスタートしました。14日(火)までの8日間になります。体育館を使用せず、学校全体を使って長い期間を設けての実施は、コロナ禍であり、新型コロナウイルス感染症の流行がどのような状況になっても展覧会を行い、保護者の方も地域の方も鑑賞できる形式をとろうと考えたからです。同時に学習を止めないというスタンスがあるのは運動会と同様です。夏季休業前から検討しての開催となりました。

今年度は図工の作品の展示です。制作段階から子供たちは楽しく、自分らしく取り組んでいました。新しい校舎の図工室は、教室の形やプレハブ棟で離れていることや作品の置き場等のことで、なかなか使い勝手が難しい状況でした。しかし、ホワイトボードを設置したり、移動の仕方を工夫したり、様々な場所を作品置き場に転用したりとその都度改善を図ってきました。作品の展示に当たっては、準備から図工ボランティアの皆さんに大変お世話になりありがとうございます。平面作品の台紙貼り、立体作品展示の下準備、飾りつけ等です。そのお陰で、教職員は子供の作品作りの仕上げや日常の残り学習等も含めて、子供たちと向き合う時間を得ています。当日も受付等もよろしくお願いします。

アートガイド(子供による作品案内)は難しいので、代表委員会が考えを出し合い企画した作品紹介のVTRを玄関モニターで上映しています。立て看板も装飾ボランティアの児童がテーマに合わせたデザインをみんなが出し合いまとめて仕上げ、今朝設置しました。長い期間の展示になるメリットを生かし、兄弟学年による鑑賞も実施して、メッセージの交換も行います。地域、保護者の皆様も子供たちへのメッセージを各学年の立体作品展示前のメッセージコーナーに是非お願いします。気に入った作品を何度も見に行ったりして、普段、たてわり班で一緒に遊んでいる子供同士で交流も生まれるといいなと思っています。全校作品は「つながろ〜ど」で、校内の様々なところにあります。学校全体を巡りながら何度も作品を見ることができると今回の楽しみの一つです。コロナ禍に対応した展覧会で、そのメリットを生かしたいと思っています。

本校には、日常的に中野特別支援学校、保育園との交流展示コーナーがあり、その作品もあり、本校学習協力者の宮沢寛之氏から提供された絵画展示もあります。かっぱまつりで昨年から2年越しで作成した「つながろう！南台」も活用させていただいています。

子供たちが思いを込めて制作してきた作品を6年生を中心に子供たち自身が展示、紹介していますが、その後押しを図工ボランティアを始めとしたたくさんの方々が支えてくださっての開催です。どうぞ「芸術の秋〜心を動かす展覧会」にお越しください。

○保護者の皆様の鑑賞日

12月2、6、7、9、10、13、14日です。(14:30~16:30)

教育相談週間での面談のある方はその日に鑑賞をお願いします。11日の土曜授業公開日では授業参観後、30分程度の鑑賞時間を設けるよう調整中です。

○地域の皆様の鑑賞日 12月11日(土)(13:00~16:30)

保護者の皆様も鑑賞できます。児童は授業後、下校しますが、この時間帯はお子様との鑑賞もできますので、ご一緒にご来校ください。



<装飾ボランティア>



<作品紹介VTR>



中野区立南台小学校 令和 3年12月 7日(火)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 105

～HPにはカラー版を掲載しています～

子供輝く@学校プロジェクト～地域とのつながり～

中野区教育委員会から、東京都教育委員会のホームページ「子供輝く@学校プロジェクト」に本校の取り組みの掲載依頼がありました。「つながろう!南台 地域コミュニティの核となる学校づくり」・「『ありがとう』で地域とつながる『南台の子』」として掲載予定(P4)です。作成の際に6年生に「地域とのつながりについて…」というテーマでGoogle classroomで考えを募集したところ、あいさつや見守り、防災やかっぱまつりのことも「ありがとう」と共に挙げられました。お礼も込めて、抜粋して紹介します。

地域とのつながりについて…(6年生)

○私はこの地域はあいさつがとっても飛び交っていてとても気持ちがよく登下校が出来ます。とっても感謝しています。私は申し訳ないくらい守っていただいていたので感謝を伝えたり、清々しくあいさつを自分からしたりするようにしています。

○僕はよく地域の人にあいさつをします。南台の人たちはとてもやさしいと思います。こないだのかっぱまつりは地域の人たちが手伝いをしたり準備をしてくれたりしたおかげで楽しくできたと思います。今後も地域の人たちといろんなことで関わったら良いと思います。「つながろう! 南台」とあるように地域の人とつながっていれば良い南台の町がつかれると思うので僕も貢献したいと思います。

○地域とのつながりは、朝のあいさつ(登校時) かかわりは、朝のあいさつや、月曜日の朝礼の時に地域の方が写ってその方の帰りの時などかかわりが1番深いかなと思います。

○自分が安全に学校に行けたり、行事に楽しく参加できたりしているのは、朝の旗振りや、かっぱまつりなどの準備をしてくれている人がいるから、地域の人に会ったら、「ありがとうございます。」と、伝えて今まで以上に良い関係を築いて交流を深めていきたい。

○新型コロナウイルスにより、かっぱまつりの時などは縮小したりしていました。どうにか行事を行うために色々な工夫をしてくれていることはとてもありがたいと感じました。

○自分が町会で楽しく学校生活を送れているのは、地域の人たちのおかげだと思います。理由は、地域の人たちがお祭りや私たちとの交流を企画してくれたり、登下校の見守りをしてくれたりしてもらっているからです。なので、その日々の感謝を伝えられるように私は「あいさつ」をするように心がけています。そして、地域の人が「南台小の子はあいさつが上手ですね。」と嬉しそうに言っていたのを見て「感謝の気持ちが伝わってよかったな。」と思いました。これからもあいさつを続けていきたいです。

○人とかかわりが増えると良いと思った。理由は、少しでもかかわりをもつことで、助け合いなどが増えていくと思ったからです。

○「地域」は私にとってなくてはならない存在です。例えば、シルバーさんです。普段、朝も夕方も立っていてくれて安心できます。右左右をして車が来ていないか確認したり白線の内側を歩いたり自分の安全のためにそういうことをしっかりやっています。でも、朝早くに「朝図工」に行くときにシルバーさんが立っていなくて、とても不安の思いが強かったです。だから、地域、そして地域の方々はとても大切な存在です。

○毎日いつでも、あいさつなどしてくれるから感謝してるし、南台小学校でのかっぱまつりも協力してくれるから、かけがえのない存在だと思います。また、僕はもともとあいさつが苦手でした。でも、いつもあいさつをしてくれたおかげで自分もできるようになったので感謝しかないです。

○地域の人々がたまに枯葉などの掃除をしてくださっているのを見かけます。そこから私は、自分の事じゃなく人のためにやっていて、ありがたいなと思いました。

○最近人と人の会話が減っている思う。人との関係が薄れている。路上でも話している人が少なくなっている。

○会った時にあいさつしたりしている。町会のイベントやゴミ拾いに積極的に参加している。

○シルバーさんがいて不審者から身を守ってくれるし、子供たちが交通ルールを破っていたら、声をかけて注意してくれて自分たちを守ってくれていると思います。

○僕は大切だと思います。何故ならいつもお世話になっているからです。例えばシルバーさん達には登下校を見守ってくださっているので、「自分達は安心だ」と思っているが、それはシルバーさん達が自分の時間を割いてくださっているので、それに感謝せず黙っているのはやってくれているのに対して失礼なのできちんとお礼を言いましょう。

○とても勉強にもなり、楽しくいつもと違う学習環境でできるというのがとても良い経験になっているので、これからも地域の方との学習をやりたい。

○地域とのつながりやかかわりは、防災訓練やその他の活動である程度はもっておくべきだと思います。自然災害など何かあったときのために地域とのつながりは重要だと思います。

○地域の人たちは、僕が学校に行くとき「おはよう」や「行ってらっしゃい」を言ってくれて優しいです。

○積極的に関わっていきたいと思うけれど、見守りの人や自分から話しかけてくれた人しかあいさつができていないので、もっと積極的に地域の人にもあいさつできるようにしたいです。学校で地域の人とかかわりながら勉強するのは楽しくて、そういうところでは地域の人とかかわれていると思います。

○私は、地域とのつながり、地域とのかかわりについて、ありがたいと思いました。なぜかと言うと、地震などが起きて、避難するということがあった時に、ある程度話していたり、かかわっていたほうが(知り合い程度でも)安心するからです。

○地域によってかかわりがそれぞれちがうので、つながりやかかわりがうまくいくのが心配だなと思いました。

○いろんな行事をたくさんやっているから、地域との仲が深まると思うのでうれしいな、と思っています。

○「地域とのかかわり」が僕にとってすごく安心する感じの存在。理由は地域にかかわっていると気楽に話すことができるし、わからない事も教えてくれてくれて僕にとっては安心するからです。

○個人ではなく、地域のおかげでできるイベントなどを開催していただいて、ありがたいと思う。(多くの人が動いてく
ださっている)

○人とかかわりが増えるので、良いと思った。 だから、これからも続けてほしいです。

○ボランティア委員会で、地域の人たちに、花の球根を渡すことにしました。 また、学校の花壇にも花を植えました。 明るい花によって、地域の人との仲を深め合えるようになるといいなと、いつも思っています。

○自分自身にとって楽しく、刺激的な物だと思う。 大人になってもやりたい交流だと思う。

○地域の人たちとかかわっていて結構、仲が良かったです。もし地震とかが起きたら地域の人たちを知っていれば助け合って生きていけます。地震が起きても全く会ったことがない人たちと助け合うことは僕だったら不安でできません。だから地域の人たちとかかわれるところではかかわっていきたいです。

○すれ違う時にあいさつをしたり、かっぱまつりなどでも色々な事をやってくれていて、とてもありがたい。

○地域とかかわることは良いことだと思います。なぜなら、地域とつながれば、伝統文化をつなげられたり、新しい知識やものを知れたりするからです。他にも関わっておけば、助け合いや協力などがうまくできると思いました。

○かっぱまつりとかで地域の人とかかわっているので、いざというときに頼りになる。

○自分たちのことを見守ってくださっていたり、かっぱまつりなどの企画してくださっていてありがたいと思う だから恩返しのような事をしたいと思う。

○地域の人達とは、全然かかわってないからもっとかかわりたいと思います。

○ここの地域の人は優しく、明るい人が多く、みんなが楽しくできる環境を支えている 転校してきても早く馴染める地域だと思います。

○地域の行事で、あいさつをしたりして頻繁にかかわっていると相手も顔を覚えてくれるからうれしい。

○ありがたい存在だと思います。 ○大切だと思っている。 ○あいさつを大事にしている。

○あまり会わない人と交流したりするのが楽しい。 ○かっぱまつりなどが楽しいです。

○あまり、地域の人と学習以外で話したりしないけれど、あいさつなどでかかわりがあると思う。

○感謝したいです。理由 地域のイベントなど、僕たちが楽しめるためにたくさん用意してくれたからです。また、シルバーさんなど僕たちが安全に過ごせるために働いてくれるからです。

○花火大会や防災訓練などでみなみの児童などとも交流し、仲良くなれる機会をくれるので感謝しています。

○色々な方にさまざまなことを教えてもらえてくれて楽しいです。

○かっぱまつりなどのイベントでかかわっていると思う。

○地域の人とかかわりあって知らないこととか知ることができるから楽しい。

○いろいろなことを知れるから楽しい。

○交流した後に話したりするのが楽しい

○先生や親なども知らないことを詳しく知ることができて楽しいし、かっぱまつりなどでは、私たちが楽しめるように工夫してくれているので感謝したいです。

○知らないことが知れるから楽しい。

○かっぱまつりなどのイベントで、みんなで楽しみながらも色々な人とかかわれていると思う。

○私はかっぱまつりに行けなかったけれど、周りの友達から地域の人と話してうまが合ったり、次に会った時にその人と別の会話をしたりできたことと聞いたので、交流をすることが大切だと思います。また、地域の人が(シルバー人材センターの方々が)地域の私たちの見守りをしてくれるので感謝しています。

子供輝く
@TOKYO

子供輝く@学校プロジェクト

つながろう！南台

地域コミュニティの核となる学校づくり

～「ありがとう」で地域とつながる「南台の子」～



【登下校の見守り】コロナ禍の学校休業明け、校舎移転練習でたくさんの地域の方々に見守っていただきました。安全運転呼びかけ隊は中野警察署管内全校実施です。



【TA (たのしくあいさつ) キャンペーン】学校を明るくしようと児童会がTA (たのしくあいさつ) キャンペーンを考えました



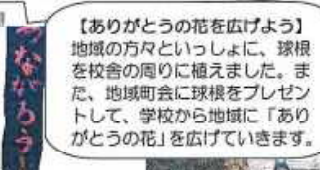
【地域にプレゼント】地域の皆さんの見守りを感謝を込めて、6年生が卒業の記念に手作りの「つながろう！南台 タスキ」と「安全の旗」をプレゼントしました。



【TAキャンペーン2+プラス】2回目は手話も入れてコロナ対策です。+ (プラス) として地域の方とも一緒にあいさつ運動！手話もあって、たくさんの方でにこやかにあいさつができてとても良かったです。



【校舎の思い出プロジェクト】お別れする校舎に感謝！「ありがとうの花」のペイントです。



【ありがとうの花を広げよう】地域の方々といっしょに、球根を校舎の周りに植えました。また、地域町会に球根をプレゼントして、学校から地域に「ありがとうの花」を広げていきます。



【お別れ見学会】ボランティアの方の交えて校舎のお別れ見学会も行いました。



コロナ禍で人と人との直接的なかわり合いが少なくなる中、校舎移転を控えた昨年度から学校・地域連携テーマを「つながろう！南台」としました。オリパラ教育の重点「ボランティアマインドの醸成」と道徳教育の重点「感謝」との関連を意識して、児童の発想を生かしつつ、つながり感のある教育活動を進めています。

【「地域とのつながり」への子供たちの思い…6年生】

- 学校で地域の人とかかわり合いながら学習するのは楽しくて、そういうところで地域とかかわれています。
- 南台地域はあいさつが飛び交っていて、気持ちよく登下校できます。申し訳ないくらい守っていただいているので、感謝の気持ちを伝えたり、清々しくあいさつを自分からしたりするようにしています。
- ボランティア委員会で地域の人たちに花の球根を渡します。学校の花壇にも地域の方と球根を植えました。明るい花によって、地域の人との仲を深め合えるようになるといいなと思っています。
- 感謝の気持ちが伝わるように日々あいさつしています。地域の方が「南台小の子はあいさつが上手ですね。」とうれしそうに言っていたのを見て、「感謝の気持ちが伝わってよかったな。」と思っています。
- 「つながろう！南台」で、地域の人とつながっていればよい南台の町が出来ます。僕も貢献したいです。

中野区立南台小学校



中野区立南台小学校 令和 3年12月 8日(水)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 106

～HPにはカラー版を掲載しています～

青梅の林業：開発2年目の社会科見学

12月7日、5年生が社会科見学に出かけました。学習内容は「林業」、行き先は「青梅」です。前日に大幅に冷え込み、天候も含め現地の方々も心配されていましたが、当日は少し寒さも収まり、天候も大丈夫でした。青梅での社会科見学はコロナ禍で工場見学が軒並みできない中、昨年度開発したコースです。間伐しながら手入れをする大切さを現地で体験を通して感じ取り学ぶことができる場所です。

2年目の今年は、現地で実際に森に触れ、体験する時間がより多くなるように、事前学習として環境学習研究会の谷村さんと森林ボランティアを続ける林敏幸さんの2名のゲストに南台小に来ていただきました。事前学習の内容は「森は命のみなもと」です。この事前学習を生かして、現地での体験学習を行います。現地での学習内容は、「森の紹介と解説」「間伐の解説」「間伐体験」「丸太切り体験」です。間伐体験は役割分担をして全員参加で実施できるようお願いしました。

現地ではたくさんのスタッフの方々の歓迎を受けました。ヘルメット姿で早速森へ…。里山を眺め、急坂を登り、埼玉県との境を歩いて小沢の森の間伐林に到着。木の間隔、草の生え方や光の射し込み方を手がかりにして学習します。間伐体験では、8つの役割を分担し、全員で作業です。選木・伐倒方向決め・伐倒距離・ロープ牽引・採倒（スタッフ）・年輪数え・枝払い・枝運び・丸太運びです。一連の作業で1本のヒノキの木の間伐しました。午後は、間伐した木の丸太切り体験です。全員がノコギリ引きに挑戦です。木の皮を剥いた子もいます。切った杉の木はとてもいい香りがしました。持ち帰ってどう使うかを考えました。あっという間に2時過ぎです。貴重な学習、貴重な本物の体験でした。



青梅成木の森活動拠点



里山の風景を眺めます



間伐林で伐倒する木にロープを



23人でロープ牽引



枝払いにも挑戦します



トラックまで丸太を運びます



8カ所での丸太切り体験



中島大輔さんからまとめ

今回お世話になった方は、青梅市で森林を整備し、その大切さを伝え続ける活動をしている「身近な森を活用する会」の皆様です。体験場所は、成木の森活動拠点と小沢の森です。10名以上のスタッフの方が朝8時から準備してくださいました。2年目の青梅の林業。昨年の実施を生かして、全員が役割をもった間伐体験は東京都の小学校で初の実施でした。「森は命のみなもと」ということを体験を通して感じ、考えることのできる社会科見学になりました。青梅の皆さんに深く御礼申し上げます。学習のまとめが楽しみです。



南台 校長室だより

令和3年度

No. 107

～HPにはカラー版を掲載しています～

式町水晶さんからのメッセージ

東京2020パラリンピック閉会式で「What a wonderful world」を演奏した式町水晶さんは「脳性麻痺のバイオリニスト」とも呼ばれています。平成30年から毎年、本校を訪問し「バイオリン演奏とお話」の会を開いてきました。パラリンピック後は、大変お忙しいようでしたが、式町さんの「南台小には行きます。」というご厚意もあり、社会貢献の一環として今年も本校への訪問が実現しました。4年連続の訪問、本校のおなじみになっていただいています。コロナ禍のため、式町さんには3度の来校で、各学年毎に6回演奏していただく計画を立てていました。その中で感染症が収まっていたので保護者、地域の方もお招きし、子供たちの様子も見ていただきました。これは2年ぶりです。

式町さんとのふれあいから「障害者理解」、「ボランティアマインド」、「いじめの悲しさ」というようなことを感じ取って欲しいと願っています。今年度のテーマは「精一杯生きる」という内容です。式町さんは各学年に応じて演奏曲や話す内容を変えて臨んでくださいました。本校の校歌「進め！南台小学校」は全学年で演奏、口ずさむことができました。

お話では、「小学校時代のいじめが原因で、自分が人とのかわりを避けるようになった時期があることから「友達の時間を大切にしたいこと」。そして、「バイオリンの弦を例えに「がんばってください。でも、がんばりすぎないでください。」とメッセージをいただきました。式町さんが本校のおなじみになってくださっていることに大きな価値を感じています。これからも式町さんと本校とのかわりを大切にしていきたいです。



週刊とうきょう

令和3年12月10日(金曜日)

第1261号

南台小 バイオリン演奏とお話 保護者・地域のひとと共に

区立南台小学校(松井敏校長)では、2年振りの実施となる「学校・保護者・地域ふれあいプロジェクト」として、ポップジャズ・バイオリニストの式町水晶(しきまちみずき)さんを迎え、「バイオリン演奏とお話」の会を、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、学年ごとに12月2日、6日、9日の2校時、3校時に開催し、保護者や地域の町会の人にも割り当てられた時間に参加し、児童と共に式町さんの話に耳を傾け、演奏を楽しんだ。



式町水晶さん

最後に南台小学校の校歌「進め！南台小学校」を式町さんの演奏で児童が歌い、児童から「障害者の辛い気持ちが

6日3校時にわたった6年生の会では、東京都オリンピック・パラリンピック教育推進として「障害者理解・ボランティアマインド」に加え「いじめ」の話など、自身の体験や伝えたいことを話され、エレキバイオリンで「キルビル」と、式町さんが作曲した「メイオウ」の奇跡の一本松や被災した木を使ったバイオリンで、東京2020パラリンピック競技大会の閉会式で使われたように使った。

【式町水晶さんのお話】
3歳の時に脳性麻痺と診断され、眼にも障害があり、今はハビリティをして動けるようになったが、小学校、中学校の時は車いすに乗っていた。4年生までは特別支援学級に通っていたが、5年生から通常学級に移った。先生の板書の速さ、皆の動きも早くて驚いたが、友達と優しくしてくれ、6年生の時に転校をしてから、いじめられるようになり、友達と怖くなり、一人

障害を持つていて辛くて辛いこともあったが、家族の中では辛いことはなかった。皆には大事な夢があり、夢をかなえるために努力すると思う。体や心が健康でなければ努力もできないので、友達と遊んだり、リラックスする時間を大切にしたい。

わかったので、その気持ちを受け止めていきたい」等の感想が述べられ、全員で式町さんとお母さんに「素敵な演奏とお話ありがとうございました」と感謝の気持ちを伝えた。終了後、参加していた多田町会の皆さんに、ボランティア委員会から見守りでお世話になっているお礼として花の球根が手渡された。



式町さんの伴奏で校歌を歌う

<「週間とうきょう」より転載の許諾を得ています。>

本校ホームページの「南台小学校NEWS」に随時学校の様子を掲載しています。
1年生も参加した保育園6園交流会や音楽隊ミニコンサートの様子などです。



中野区立南台小学校 令和 3年12月22日(水)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 108

～HPにはカラー版を掲載しています～

11人のゲストティーチャー (GT)

6年生の「わたしの12年 わたしの未来」の学習のために2日間に渡り、11人のゲストが来校し、自分のお仕事のお話をしてくださいました。全員が地域や保護者、本校ゆかりの方々です。その方々との「地域ふれあい学習」です。6年生はゲストとのかかわりを通して自分が調べる課題を決めていきます。どの方もきっかけややりがい、苦労や喜び等を交えながら、ご自身のことを語っていらっしゃいました。人生の先達から学ぶ「本物にふれる体験」です。

今回の6年生の学習は卒業期に自分自身を見つめ、将来を考える学習につながります。そのきっかけのゲストが地域や保護者の方、本校ゆかりの方です。そして既にこれまでの学習の中で6年生と共にかかわり合っている方ばかりであることは大変貴重なことです。

冒頭の「地域ふれあい学習」とは右上の囲みの内容です。象徴的なのは④の「ゲストを招いての学習」です。しかし、大上段に構えず、無理なく地域や学校の「ひとものこと…」に実際に触れる学習、「ひとものこと…」を考える学習と幅広く考えています。

南台小が位置するこの南台、南中野を中心に中野区、広く考えれば東京都という地域の財産を生かすことで、その教科の学習のねらいを達成することが一番の目的です。副次的な効果として、地域にふれることで、子供たち自身が地域や学校への愛着をはぐくんでいくことも期待しています。開校以来、統合新校として大切にしています。

「地域ふれあい学習」とは…

- ①地域や学校についての学習
- ②地域に出かけて、地域にふれる学習
- ③地域の施設や企業での学習
- ④地域の方や専門家等の外部人材（人材）をゲストやリモートで招いての学習
- ⑤地域の学校や幼稚園、保育園、関係諸機関等と連携した学習
- ⑥地域や保護者の方が共に参加する学習

税理士の方



画家の方



伝統工芸士の方



区教育委員会施設担当の方



旅行代理店の方



南台郵便局の方



ソーシャルワーカーの方



キッズ・プラザ新山の方



ベビーシッター、芸人の方



障害者就労支援の方



建築家の方



今後、学習がどう進むか大変楽しみです。たくさんの方の理解のおかげで学習が成立しています。地域の大きな力を感じています。

中野区立南台小学校 令和 4年 1月25日(火)

南台 校長室だより

令和3年度 No. 109

～HPにはカラー版を掲載しています～

学級閉鎖等に備えを～区全体の感染状況から

先週21日、東京都にもまん延防止等重点措置が適用されました。中野区内の小中学校でも新型コロナウイルス感染症の流行は大きく拡大しています。学校欠席者感染者情報システムによると中野区全体の保育園幼稚園小中学校全体の感染者数は、20日は81名、21日は93名、24日は93名、25日は昼の時点で114名で推移しています。また、濃厚接触者数も24日に236名となっています。

17日～24日発表での中野区の報道では小学校の感染者数は36名、学級閉鎖が2学級、学年閉鎖が2学年となっています。今日までを含めると中野区内の小学校で10以上のクラスが学級閉鎖・学年閉鎖になっています。新型コロナウイルス感染症での学級閉鎖の基準は、複数（2名以上）の感染者がいる場合、周囲の健康状態等を見ながら学級閉鎖の措置をとることになります。

現在、保健所が濃厚接触者の特定に手が回らず、現在は、校医、区教育委員会と学校が連携をとりながら、濃厚接触者の特定や学級閉鎖措置を決めていく状況です。いくら感染防止の対応をとっていても、感染拡大傾向であり、いつ学級閉鎖になってもおかしくない状況と言えます。

その場合は、すぐにGoogleMeetとGoogle classroom、課題、プリント等を活用した形に切り替えられる準備は既にできています。配布されたルーターのテストも終わっています。ご家庭でオンラインの回線がつかない状況があれば、すぐに担任までご連絡ください。閉鎖でなく、授業を進めたいことはもちろんあるのですが、現在の状況は大変厳しいことであることを共有していきたいと思います。

新年スタートから2週間過ぎです。授業再開の日には一生懸命話してくれた4年生の児童代表の言葉にあるように、みんなはりきって学習、生活をしていて、当たり前のようによい授業を進めていきたい中ですが、とても大変な状況です。

授業再開の日の児童代表の言葉

私は4年生になっていろいろなことに挑戦しました。前からきょうみがあって、やってみたかった音楽たいにも入りました。

楽器ができるか不安だったけれど、音楽がすきだし友達がいたらがんばれるんじゃないかと思って入りました。

音楽たいでは、色々な曲をえんそうします。知らない曲はむずかしかったりするけれど、友達と一緒に練習しようと言ってくれたり、高学年のお姉さんが教えてくれたりはげましてくれたりするから、やる気が出てがんばれます。

みんなで曲を合わせたり、先生からアドバイスをもらったりすると、さらにがんばろうと思えます。4年生もあと3ヶ月です。音楽たいだけではなく算数などのべん強もしっかりやりたいです。

そして、5年生になってもまた音楽たいをつづけて、私がしてもらったように下の子にも教えたりして、一緒にがんばりたいと思います。

(4年児童代表)

昨日、メール配信でお願いをしました感染症予防対策と健康観察について再度のお願いです。ご家庭で確実に検温と健康観察をお願いします。体調不良や心配なことがある場合は登校を見合わせてください。ご家族が体調不良の場合も同様です。学校では、基本的な予防対策を確実に行う中でよりよい授業を進めていきます。

そして、学級閉鎖等への備えをご家庭でもご準備いただきますようお願いいたします。

南台 校長室だより

令和3年度

No. 110

～HPにはカラー版を掲載しています～

明るくさわやかな、あいさつの学校

先日、シルバー人材センターの旗振りの方から、「子供たちのあいさつ、とってもよくなりましたね。行ってきます！！って言ってくれるんですよ。わたしも行ってらっしゃいって返していてとっても気持ちがいいです。」と教えて下さいました。わたしも1年前とは明らかにあいさつはその声も態度も変わったと思っています。校門に向かう途中や校門で出迎える時、じわじわと感じていました。

特に、年が明けてからは「明るく、さわやかに、遠くから」のあいさつが目立って聞こえるようになってきたと思っていた矢先のシルバーさんからのお話でしたので、とてもうれしくなりました。ボランティア委員会のあいさつ運動もあり、6年生が国語の提案文の学習で「あいさつのきれいな花をさかせよう」という提案をしてくれたことも大きかったと思います。けれども、毎日声をかけてくださる地域の方や保護者の方がいらっしゃることも力になったと思います。そして何よりこの1年間、6年生があいさつを様々な場所で強く意識して継続して実行していたことが最も大きい力です。

先週の全校朝会では「おはようございます」に「いつもありがとうございます」や「おつかれさまです」と言葉を添えている人がたくさんいることにも触れました。その上で、6年生を見習って、6年生より先に自分からあいさつできるようにしよう…そして、6年生ともお話やおしゃべりができるようにしよう！と話しました。

今月初めには「6年生を送る会」を各学年毎でしたが、対面で実施できました。6年生から5年生に最高学年のバトンが渡されつつあります。朝の旗揚げや南台太鼓の引き継ぎも進んでいます。この「明るくさわやかな、あいさつを交わす」こともしっかり全校で引き継いでいきたいです。



<6年生を送る会>



<旗揚げの引き継ぎ>

来年度の児童数と学級数（3月18日現在）

学年	新1年	新2年	新3年	新4年	新5年	新6年	合計
児童数	79	77	84	77	77	71	465
学級数	3	3	3	2	2	2	15

来年度から35人学級対応が第3学年までになります。新1年～新3年は35人学級対応なので3学級編成です。今後も転出の予定がある方は必ず担任までご連絡ください。また、その可能性のある場合も同様をお願いします。



中野区立南台小学校 令和 4年 3月25日(木)

南台 校長室だより

令和3年度

No. 111

第5回卒業式ご報告～つらい別れ

～何でもよくやるあこがれの6年生～

昨日、第5回卒業式を無事挙行し、移転したこの校舎から巣立つ初めての卒業生を送り出しました。5年生は22日の卒業式予行の際に6年生との引き継ぎを行い、送辞を代表児童が送りました。当日はオンラインで教室から参加しました。式の様子をご報告します。

簡潔にコンパクトにまとめた卒業式ですが、心が込められていて、一人一人の成長の足跡もうかがえる感動的な卒業式でした。1年生を多田小、新山小で過ごし、統合して2年生から南台小に通ったこの学年の子たちは1年生の時もなかよしスマイル交流会で知っていました。また、この子たちの保育園年長の様子も卒園式等で見ていましたので、心も体も大きく成長したことをより感じていました。

今年の6年生をわたしは「何でもよくやるあこがれの6年生」だと思っています。卒業式ではそこに心を感じる場面が垣間見えました。

舞台上の証書授与は「ひとりひとりの晴れ姿」です。6年間で一番よい返事をしようとしていました。そして一人一人の証書授与の間、同じ学年の仲間として、「その子」とのことを思い出して見守っている様子も伝わってきました。

門出の言葉は「みんなの晴れ舞台」です。言葉に思いを込めている様子もよく分かりました。そして、こらえきれない涙…きれいな心からの涙だったと思います。人は内面が充実すると行動が変わると言います。本当に子供たちの心の充実を感じる式でした。

退場後、各教室ではこらえることなくたくさんの涙を流して別れを惜しんでいたようです。つらい別れです。「人は別れるときに初めて、相手とどのような付き合いをしていたのかが分かる」、「つらい別れは素晴らしい日々を過ごしてきた証である」と言います。つらい別れができる素晴らしいクラスです。素晴らしい小学校生活の思い出もあるでしょう。中学校でも新しい出会いを大切に、よりよい中学校生活を送り、またつらい別れができるようになって欲しいと願っています。

＜送辞抜粋＞ 少しずつあたたかさが感じられ、春らしくなってきました。本日晴れてこの南台小学校をご卒業される皆さん、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

皆さんと一緒に過ごした日々を今振り返ると、いつも優しく接し、リーダーシップをとり、下級生の私たちをまとめ、楽しく盛り上げて下さいました。そんな皆さんは私たちの目標です。卒業された後、さみしく、心細くなりますが、今までありがとうございました。

4月から私たち5年生は最上級生になります。まだまだ同じようにはいきませんが、皆さんから教わったことをお手本にこの南台小学校をよりよい学校にしていきたいと思います。

この6年間の楽しかったこと、つらかったこと、喜びあったこと、たくさんの思い出を胸に中学生としてのスタートを切る皆さん、勉強やスポーツでも、今まで以上に大変になるかもしれませんが、努力をすればするほど将来が楽しくなると思います。

目標をもち、自分の力を信じて一步一步歩み、これからも輝いた皆さんでいてください。(5年在校生代表)



<式辞抜粋>

皆さんは、この一年間、南台小学校の最高学年、「南台の顔」として、実によく学校全体のことを考えて活動してきました。下の学年のみんなはあこがれていました。6年生があこがれの存在であれば、学校は大丈夫と言えます。、皆さんのどこがあこがれなのでしょう。わたしは、ずっと「よくやる6年生」と言ってきました。が、今では「何でもよくやる6年生」です。

たくさんのお手伝いがありました。初めての宿泊、日光丸沼移動教室、運動会では騎馬戦ができました。英語スピーチ発表、制限のある中でも合奏もしました。総合的な学習の時間「わたしの12年、わたしの未来」では11人もの地域の方から仕事のお話を聞き、自分をしっかり見つめ、将来も考えながら自分自身を語る姿を頼もしく思いました。

よくやったことがたくさんある中で、わたしはこの一年、皆さんがずっと意識して続けていた「どこでも、だれにでも、進んで先にあいさつ」が最も印象的です。いやむしろ感謝しています。なぜなら、このあいさつは今は「明るいさわやかなあいさつ」になり、南台小学校全体、そして地域にも大きく広がりを見せています。本当に皆さんのすごい力だと思っています。だから感謝なのです。皆さんは本当に何でもよくやった最高学年「あこがれの6年生」です。コロナの中でのその姿は在校生だけでなく周囲の大人にも元気を与えました。わたしもその一人です。ありがとう。

3月に皆さんと一緒に道徳の授業で考えた星野富弘さんのようにただひたすらに努力する姿、プラスに考えてよくやる姿はとても美しいものです。当然、皆さんの学校生活にもたくさんあったでしょう。いや、ありました。その時の心もちをしっかりと思い起こして、これからこそ、大切にしてください。そして、これからに役立ててください。皆さんならきっとできます。それはきっと皆さんの人生を豊かにしてくれるものになるはずですよ。

本日、たくさんの方々にお祝いされて、卒業できる幸せを当たり前と思わずに、ありがたいことだと思い、皆さんには誇りを持って歩んで行ってほしいと思います。卒業、本当におめでとうございます。この校舎から巣立つ卒業生の皆さんの限りない幸せを心からお祈りし、わたくしの式辞といたします。

式後、晴れ渡った青空の下、校庭で5年生の見事な司会で卒業生の門出を送りました。校舎移転後の最初の卒業式、様々な方のご理解、ご協力があった挙行できました。そして25日、最高学年になった5年生が体育館、1～4年生は各教室、オンラインでつないで修了式を行いました。修了式の児童の言葉は大変前向きになる内容で、コロナ禍でも様々なことに挑戦した南台小の子供たち、そして大人にも元気を与えるものでした。

その後、各教室で代表児童に修了証を渡しました。コロナ禍も2年も超えています。今年度も様々な制限のある中、子供たちは大変がんばりました。

「つながろう！南台」のテーマで取り組んだ2年目でした。この南台小に心を寄せてくださる皆様に深く感謝申し上げます。

<修了式児童代表の言葉>

1年を振り返って

私がこの1年で1番に残っているのは、軽井沢移動教室です。鴨下先生が実際に行って見つけてきてくださったアプトの道のハイキングは最高に素敵でした。

新型コロナウィルスの影響で、夏から秋に延期となり、2泊の予定が1泊になりました。でも、秋だからこそリンゴの実を食べたり、元々予定になかったナイトウオークを楽しんだり、盛りだくさんの1泊2日を満喫し、5年生のみんなとの最高の思い出ができました。

予定通りにならなかったことが、かえって元よりももっとよいものになるということを経験した出来事でした。これからもコロナだけでなく、いろいろなことが原因で予定通りにいかないこともあると思います。工夫や考え方次第で、もっとよりよいものにできることが分かったので、明るく前向きに挑戦していきたいです。

(5年児童代表)